

2024年度

大阪樟蔭女子大学大学院
人間科学研究科修士課程

化粧ファッション学専攻

男女共学

学生募集要項

長期履修制度・昼夜開講制度あり

目次

1. アドミッションポリシー	P.1
2. 募集人員	P.1
3. 出願資格	P.1
4. 選考方法	P.3
5. 合否発表	P.4
6. 出願手続	P.4
7. 出願資格認定に関する事前審査	P.5
8. 注意事項	P.7
9. 身体に障がいのある方の出願について	P.7
10. インターネット出願	P.8
11. 入学検定料支払方法のご案内	P.9
12. インターネット合否速報サービス	P.10
13. 入学手続と納付金	P.11
14. 給付奨学金について	P.12
15. 長期履修制度	P.12
16. 昼夜開講制度について	P.12
17. インフォメーション	P.13
18. 専任教員の研究分野と研究指導について	P.14
19. カリキュラム (2024年度予定)	P.16
20. 授業科目とその講義等の概要	P.18

入試日程

選考区分	一般入学試験 社会人入学試験 外国人留学生入学試験	合 否 発 表
I 期	2023年9月16日 (土)	2023年9月22日 (金)
II 期	2024年2月24日 (土)	2024年3月2日 (土)

1. アドミッションポリシー

化粧ファッション学専攻は、ディプロマポリシーおよびカリキュラムポリシーに定める教育を受けるための条件として、次に掲げる条件を備えた人を求める。

- ①専攻での学びを通じて、広い視野に立った学識ならびに専門的な技術を修得する意欲を有している。
- ②専攻の示す要件を満たしている。
- ③広く内外にわたる知の集積と発信を図ることによって「学」としての「化粧ファッション学」の修得深化に意欲を持っている。
- ④文化芸術活動の振興ならびに人々の日常的な生活の質の向上に貢献したいと考えている。
- ⑤昨今の国際化する日本市場において厳しい条件下にある関連諸企業の発展にも寄与することを希求する、斬新な発想と見識を備えている。

2. 募集人員（男女共学）

修士課程（標準修業年限2年※）

研究科	専攻	募集人数
人間科学研究科	化粧ファッション学専攻	10名

※修業年限について：志願者の個々の事情に合わせ、カリキュラムを組むことができるように、長期履修制度（最長4年）を設けています。（P.12参照）

※授業時間帯について：志願者の個々の事情に合わせ、働きながら通学できるように、昼夜開講制度を設けています。（P.12参照）

3. 出願資格

本研究科化粧ファッション学専攻の入学試験は、**一般入学試験**、**社会人入学試験**、**外国人留学生入学試験**の3つの区分に分けて年2回（Ⅰ期とⅡ期）実施します。

【一般入学試験】

■次の各号の一つに該当する者

- (1)大学を卒業した者および2024年3月31日までに卒業見込みの者
- (2)大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2024年3月31日までに授与される見込みの者
- (3)外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者。ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国においては、優れた成績をあげて大学教育を修了した、または修了するものと本大学院において認定された者
- (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者
- (5)我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者
- ※(6)短期大学・高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、本大学院における個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (7)文部科学大臣の指定した者

【社会人入学試験】

■次の各号の(1)～(7)の一つに該当し、かつ(8)か(9)のいずれかを満たす者

- (1)大学を卒業した者
- (2)大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者および2024年3月31日までに授与される見込みの者
- (3)外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者。ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国においては、優れた成績をあげて大学教育を修了した、または修了するものと本大学院において認定された者
- (4)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者
- (5)我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者
- ※(6)短期大学・高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、本大学院における個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (7)文部科学大臣の指定した者
- (8)学校・官公庁・団体・企業等で、出願時までに2年以上の就業経験があり、2024年4月1日に満24歳以上の者
- (9)教育・福祉・宗教・国際協力・ボランティア・芸術文化・その他何らかの社会的実践活動を、出願時までに2年以上経験した者で、2024年4月1日に満24歳以上の者

【外国人留学生入学試験】

■日本以外の国籍を有し、次の各号の一つに該当する者

- (1)外国において学校教育における16年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者。ただし、大学教育修了までの学校教育の課程が15年である国においては、優れた成績をあげて大学教育を修了した、または修了するものと本大学院において認定された者
- (2)日本において外国人留学生として日本の大学を卒業した者および2024年3月31日までに卒業見込みの者
- (3)外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者
- (4)我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該大学の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者および2024年3月31日までに修了見込みの者
- ※(5)短期大学・高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等で、本大学院における個別の出願資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (6)文部科学大臣の指定した者

なお、志願者は「日本語能力試験N1」または「日本語留学試験」を受験していることが望ましい。

※「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業者やその他の教育施設の修了者等」が対象です。これによって出願しようとする場合は、別途、事前審査を行ないます。
(P.5「出願資格認定に関する事前審査」参照)

4. 選考方法

筆記試験、面接および提出された出願書類（研究計画書を含む）によって総合的に判定します。

【入学試験日程】

選考区分	試験日	試験時間	
		筆記試験	面接
I 期	2023年9月16日（土）	10：00～11：30	13：00～ (予定)
II 期	2024年2月24日（土）		

【入学試験会場】（I 期・II 期共通）

会場	所在地
大阪樟蔭女子大学 本学キャンパス	〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26 (近鉄奈良線「河内小阪駅」下車 西へ徒歩4分) (JR おおさか東線「JR 河内永和駅」下車 東へ徒歩5分) TEL. 06-6723-8274 (入試広報課)

【試験科目・試験時間割】（I 期・II 期共通）

選考	試験科目 時間	筆記試験	面接
		専門科目 / 小論文 10：00～11：30 (90分)	13：00～ (予定)
一般入学試験	専門科目 ※1	面接 ※2	
社会人入学試験	小論文		
外国人留学生入学試験	小論文 (日本語)		

※1：本専攻の研究教育分野に関する複数の課題のうちから1題を選択して解答してください。

※研究教育分野内容は、P.14に記載しています。

※2：提出された研究計画書（研究テーマ設定の経緯と理由、研究の進め方、期待される成果など）を中心に、この専攻で研究したいと考えていることについて詳しく伺います。

5. 合否発表

- ・合否の判定結果は、合否発表日に受験者全員に郵送（普通郵便）し、本人宛に通知しますが、郵便事情により遅延が発生する場合があります。
- ・合否発表当日の10：00より、インターネット（スマートフォン・パソコン・携帯電話）による合否照会ができます。ただし、やむを得ぬトラブル等により遅れる場合がありますのでご了承ください。
※詳細はP.10をご覧ください。

選考区分	合否発表日
I 期	2023年9月22日（金）
II 期	2024年3月2日（土）

6. 出願手続

- (1)本学ではすべての入試においてインターネット出願を採用しています。詳しくはP.8もしくは別冊「インターネット出願ガイド」をご覧ください。
- (2)提出先および問い合わせ先 〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26
大阪樟蔭女子大学 入試広報課
TEL. 06-6723-8274（直通） FAX. 06-6723-8268
- (3)入学検定料 30,000円（振込済の入学検定料は、いかなる場合も返還しません。）
- (4)出願登録期間・入学検定料払込期限

選考区分	出願登録期間	入学検定料払込期限
I 期	2023年8月16日（水）～ 2023年9月8日（金）15：00まで	登録した翌日の23：59まで ●ただし、登録最終日は9月8日（金）16：00まで
II 期	2024年1月5日（金）～ 2024年2月16日（金）15：00まで	登録した翌日の23：59まで ●ただし、登録最終日は2月16日（金）16：00まで

- (5)出願方法 出願書類等一式を市販のA4サイズが入る封筒に同封し、入試広報課に郵送（速達・簡易書留）してください。（出願登録最終日必着）

(6)提出書類等（二ツ折厳禁） ※出願の際に提出を受け付けた書類は、いかなる場合も返却しません。

提出書類	備考
① WEB 入学志願票	(出願登録完了後ダウンロード・写真1枚貼付)
②最終学歴の卒業（修了・在学）証明書	(出身大学等の所定用紙)
③最終学歴の成績証明書	(出身大学等の所定用紙) □大学院修了（または在学）者は、出身大学および大学院の成績証明書を提出すること。
④研究計画書	(本学ホームページからダウンロード) □研究テーマ、テーマ設定までの経緯と本専攻を志望する理由、研究計画の具体的内容と進め方、期待される成果（研究の評価指標、社会的意義など）、参考文献リストなどを含む研究計画の概要を記載する。
⑤長期履修申請書	※希望者のみ（P.12参照）
⑥研究業績・活動実績等一覧	※提出は任意。（様式任意）
⑦出願資格認定証の写し（コピー）	※事前審査により出願資格を認められた者のみ提出

※ WEB 入学志願票の学歴欄は高等学校以上の学歴を記入してください。

※写真は、縦4cm×横3cm、上半身・正面・背景無地、出願前おおむね3ヶ月以内に撮影した写真。

裏面に氏名を記入し、WEB 入学志願票の所定の位置に貼付してください。

※外国人留学生として出願する場合は、入学検定料の納入及び日本語能力を証明する書類を出願締切日までに提出してください。提出書類については、事前に必ず相談してください。

受験票は、出願完了メールが到着後にダウンロードできます。

※出願完了メールが出願登録期間終了後、2日経過しても届かない、または受験票がダウンロードできない場合は、入試広報課（TEL. 06-6723-8274）まで連絡してください。

7. 出願資格認定に関する事前審査 《出願資格※に該当する者のみに必要です》

P.1～2の出願資格において※に該当する者については、事前審査を行いません。

次の手順に従って、申込手続きをしてください。

(1)申込先および問い合わせ先 〒577-8550 大阪府東大阪市菱屋西4-2-26

大阪樟蔭女子大学 入試広報課

TEL. 06-6723-8274（直通） FAX. 06-6723-8268

上記の大阪樟蔭女子大学入試広報課に、ファックス、ハガキ、電話のいずれかで申し込んでください。事前審査に必要な書類等をお送りします。また面接日程をお知らせします。

※ ファックス、ハガキの場合は、氏名（フリガナ）、住所、電話番号を明記してください。

(2)出願資格の事前審査面接申込締切日・書類提出期間

選考区分	事前審査面接申込締切日	書類提出期間
I 期	2023年8月18日（金）	2023年8月10日（木）～2023年8月23日（水）
II 期	2024年1月12日（金）	2023年12月18日（月）～2024年1月16日（火）

※面接申込締切日：事前審査に必要な書類および面接を依頼する締切日となります。

※書類提出期間：出願資格審査に必要な書類を提出する期間となります。【出願登録最終日必着】

(3)提出方法 提出書類等を一括して封筒に入れ、「大学院事前審査書類在中」と明記し、郵送（速達・簡易書留）してください。

(4)提出書類等（二ツ折厳禁）

〔一般入学試験・社会人入学試験〕 ※事前審査の際に提出を受け付けた書類は、いかなる場合も返却しません。

提出書類	備考
①出願資格審査申請書	(本学ホームページよりダウンロード)
②履歴書	(様式任意) 空白期間のないように詳述のこと
③最終出身教育機関の卒業（修了・在学）証明書	(出身教育機関等の所定用紙)
④最終出身教育機関の成績証明書	
⑤研究業績・活動実績等一覧	※提出は任意。(様式任意)

〔外国人留学生入学試験〕 ※事前審査の際に提出を受け付けた書類は、いかなる場合も返却しません。

提出書類	備考
①出願資格審査申請書	(本学ホームページよりダウンロード)
②履歴書	(様式任意)
③最終出身教育機関の卒業（修了・在学）証明書	(出身教育機関等の所定用紙)
④最終出身教育機関の成績証明書	(出身教育機関等の所定用紙) 国籍の確認等に使用。住民票の写しを提出する場合、かならず国籍の記載されたものを提出のこと。パスポートの当該欄のコピーまたは登録原票記載事項証明書でも可。
⑤住民票の写し（国籍の記載されたもの）	
⑥日本語能力試験証明書等	「日本語能力試験認定結果および成績に関する証明書N1」のコピー、「日本語能力試験旧試験1級の成績通知書」のコピー、または「日本留学試験成績通知書」のコピー ※各試験を受験した者のみ提出してください。受験していない者は提出不要です。

※外国の大学等の場合、証明書の発行に時間を要する場合がありますので、早めに準備してください。
※証明書は原則として日本語または英語で記載されたものを提出してください。

(5)審査方法 書類審査および面接

(6)審査結果の通知 いずれも下記の日審査結果を本人宛に郵送（速達）します。

選考区分	審査結果通知日
I 期	2023年8月26日（土）
II 期	2024年1月20日（土）

(7)事前審査で出願資格の認定を受けた場合の出願時の手続きについて

1. 事前審査により出願資格が認定された者は、P.5「(6)提出書類等」のうち、すでに提出済みの書類（②、③）以外の書類と、「⑦出願資格認定証の写し（コピー）」を提出してください。
2. 日本国外に居住し、日本における在留資格を有しない外国籍の者は、出願資格認定証を用いて速やかに査証取得を行ってください。

8. 注意事項

【出願時の注意】

1. 本学ではすべての入試においてインターネット出願を採用しています。詳しくはP.8もしくは別冊「インターネット出願ガイド」をご覧ください。
2. 提出書類は指定がある場合、本学所定の用紙を使用してください。
3. 黒のボールペンで記入してください。文字は楷書、数字は算用数字で、必要事項を正確に記入してください。誤記を訂正する場合は修正液等を使用せず、訂正した箇所に訂正印を押してください。
4. 詳しいお支払い方法については、インターネット出願画面の「入学検定料の支払方法について」を参照してください。

【入学試験前の注意事項】

1. 発熱・咳などの症状がある受験生は、あらかじめ医療機関で受診し、医師などの指示に従ってください。
2. 学校感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹等）に罹患し、試験日までに医師が治癒したと診断していない、または罹患のおそれがある方は、感染拡大防止の観点から受験できません。該当する受験生は、入学試験当日までに本学入試広報課までご連絡ください。詳しくは本学受験生応援サイトをご覧ください。なお連絡なく欠席した場合は、通常の欠席として取り扱います。

【受験にあたっての注意】

1. 入学検定料支払後の出願登録内容の変更はできません。
2. 試験会場内の下見はできません。学校見学をご希望される場合は、事前にご連絡ください。
3. 試験会場等、受験に関する注意事項は、当日受付で配付します。
4. 受験票は、ダウンロードし印刷して試験当日に必ず持参してください。
受験票を忘れた場合は、受付に申し出てください。
5. HB・Bの鉛筆またはシャープペンシルと消しゴムを持参してください。
6. 試験場の受付は試験開始の1時間前です。**試験開始15分前**までに受付を済ませ、指定された試験会場で、各自の受験番号の席に着席して指示を待ってください。
7. 試験開始後30分以上経過した場合の遅刻は認めません。
8. 試験時間中の退出は認めません。
9. 試験は厳正に行い、万一不正行為があったと認められた者は不合格となります。
10. 試験会場に時計はありません。各自で用意してください。
11. スマートフォン・スマートウォッチ・携帯電話などの通信機器は、試験室での使用を禁止します。
12. 計算機（時計などと併用するものを含む）等の使用はできません。
13. 試験当日の昼食は、各自で用意してください。（学内の食堂・売店は営業しません）
14. 入学試験に係る注意事項についてを必ず確認してください。

9. 身体に障がいのある方の出願について

入学試験時および入学後に特別な配慮を必要とされる場合は、必ず**出願登録前に入試広報課**（TEL. 06-6723-8274）にご相談ください。

10. インターネット出願

詳しくは別冊「インターネット出願ガイド」をご覧ください。

ご利用にあたって、パソコンまたはスマートフォン・メールアドレス・プリンターが必要です。

インターネット出願ページでアカウント登録

エントリー／出願登録期間外でもアカウント登録は可能です。

初めて出願する際はまずアカウント新規登録を行う必要があります。この登録が完了しないと、出願登録に進むことができません。「マイページ」登録にはメールアドレスが必要です。

1

- ① 本学「受験生応援サイト」内の「WEBエントリー／WEB出願」をクリック
- ② WEB出願サイトにアクセス
- ③ ログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック
- ④ 利用規約に同意した後メールアドレス・パスワードを入力して「登録」ボタンをクリック
- ⑤ 入力したメールアドレス宛てに仮登録メールが届く
- ⑥ 仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了
- ⑦ 登録したメールアドレスに認証コードが届くので入力してログイン

※仮登録メールや認証コードが届かない場合は、迷惑メールに分類されてしまっている場合があります。

出願登録（出願開始日の0:00～出願期間最終日の15:00）

2

- ① 出願サイトにログイン
- ② 大阪樟蔭女子大学『【はじめて】エントリー／出願登録*』から必要項目を入力

※2回目以降の出願をされる方は、『【2回目以降】出願登録／出願確認』から必要項目を入力してください。

入試制度の選択 ▶ 志望専攻の選択 ▶ 志願者情報の入力 ▶ 支払いに利用するコンビニを選択

コンビニで入学検定料の支払い

3

出願登録で選択したコンビニで入学検定料を納入してください。詳しいお支払い方法については、インターネット出願画面を参照してください。入学検定料支払い後に「出願登録内容の変更は一切できませんので注意してください。」

●入学検定料の他に別途、払込手数料が必要です。●お支払金額が5万円以上の場合、別途事務手数料が必要です。●一度納入した入学検定料は、理由の如何にかかわらず返金しません。●入学検定料支払いの領収書は提出不要です。控えとして保管してください。

LAWSON  FamilyMart Seicomart  

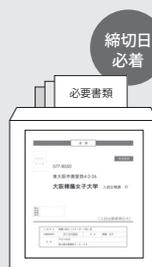
出願書類を郵送 出願登録期間の最終日必着（消印有効ではありません）

4

- ① 出願サイトにログイン
「出願内容一覧」の「出願内容を確認」ボタンからWEB入学志願票、封筒貼付用宛名シートをダウンロード。拡大縮小せずにA4サイズで印刷してください。

- ② 必要書類を揃え、市販の封筒に封入して郵送

●消印有効ではありません。
出願登録期間最終日に本学に書類が到着するように、簡易書留・速達でお送りください。（締切日必着）



キャンパスの窓口でも出願を受け付けます。

■入試広報課

本学キャンパス

TEL.06-6723-8274に事前連絡のうえお越しください

<受付時間>10:00～17:00

※日・祝および夏期・冬期休暇を除く

注意!

- 出願内容の登録完了後の変更は一切できません。
- 入学検定料の支払い前に誤りに気づいた場合は、入学検定料を納入せずに新たに登録を行ってください。（入学検定料を納入していない登録内容は自動で無効となります）

インターネット環境がない方はTEL.06-6723-8274<入試広報課>までご連絡ください。

出願期間中に
出願書類を
持参する場合

キャンパス窓口で出願を受け付けます。

（出願する大学院人間科学研究科・専攻にかかわらず受け付けます）

■入試広報課（本学キャンパス、TEL.06-6723-8274に事前連絡のうえお越しください）

<受付時間>10:00～17:00 ※土・日・祝および夏期・冬期休暇を除く

12. インターネット合否速報サービス

- ・合否の判定結果は、合否発表日に受験者全員に郵送（普通郵便）し、本人宛に通知しますが、郵便事情により遅延が発生する場合があります。
- ・照会が可能となるのは、いずれも合否発表日の10：00からです。照会可能期間は次の通りです。

選考区分	合否発表日	照会可能期間
I 期	2023年 9月22日（金）	2023年 9月22日（金） 10：00から 2023年 9月25日（月） 24：00まで
II 期	2024年 3月2日（土）	2024年 3月2日（土） 10：00から 2024年 3月5日（火） 24：00まで

スマートフォン・携帯電話およびパソコンで合否の確認ができます。

●合否速報サービス利用上の注意

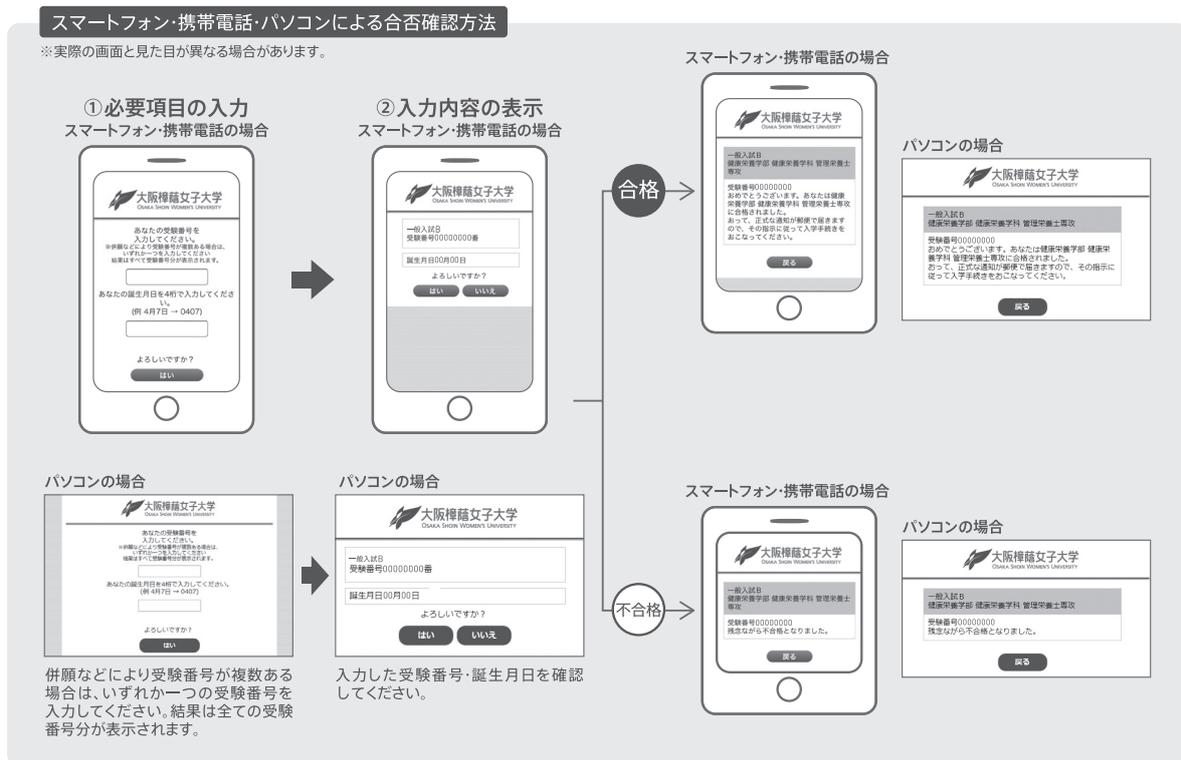
- ・当サービスでの発表は速報であり、正式な合否は大学から郵送される書類にて確認してください。
- ・当サービスの「誤操作」「見間違え」等を理由とした、入学手続の遅れは認められません。
- ・サービス開始直後はアクセスが多く、つながりにくい場合があります。その場合はしばらく経ってから再度操作をしてください。
- ・スマートフォン以外の携帯電話は一部機種で表示されない場合があります。
- ・機材の性能や接続方法、ブラウザ設定などにより表示に時間がかかったり、文字化けが発生する場合があります。
- ・試験会場の外で合否発表に関する案内を本学教職員が行うことはありません。類似のサービスにはご注意ください。

※期間外は見ることができません。

合否の確認方法

以下のURLまたは携帯電話用二次元バーコードからアクセスしてください。

<https://www.postanet.jp/gouhi/012211/>



1.3. 入学手続と納付金

- ・合格者は合格通知書とともに郵送する「入学に関する注意事項」に従って、入学手続を完了してください。
- ・入学手続に必要な納付金（入学金、学生教育研究災害傷害保険料、学研災付帯賠償責任保険料）を、手続期限までに納入してください。入学後に必要な納付金は下記のとおりです。
- ・既納の納付金は、理由の如何を問わず返還しません。

【入学手続期限】

選考区分	入学手続締切日
I 期	2023年10月6日（金）
II 期	2024年3月15日（金）

【納付金】（標準修業年限2年で受講の場合）

●入学手続に必要な納付金

（単位：円）

内 訳	入 学 金		280,000 ^{*2}
	諸 費	学生教育研究災害傷害保険料 ^{*1}	1,400
		学研災付帯賠償責任保険料 ^{*1}	680
入学手続時納付金合計			282,080

※1 学生教育研究災害傷害保険料と学研災付帯賠償責任保険料は2023年度実績です。

※2 大阪樟蔭女子大学卒業後、本学大学院に入学する者は、入学金を半額（140,000円）とします。

●入学後に必要な納付金

〔春期納付金は2024年5月22日（水）に指定の口座より引き落としされます〕

（単位：円）

化粧ファッション学専攻 （2024年度予定）		1 年次春期分	1 年次秋期分
授 業 料		300,000	300,000
施 設 費		70,000	70,000
諸 費	後 援 会 費	6,000	6,000
	学 友 会 費	3,000	3,000
	同 窓 会 費	10,000	入学時のみ納入
合 計		389,000	379,000
入学後納付金合計		768,000	
1 年次納付金合計		1,050,080	

※同窓会費は、中途退学の際全額返還します。（樟蔭高等学校および大阪樟蔭女子大学出身者は不要）

※学外実習費などは別途徴収します。

14. 給付奨学金について

本大学院は熱意ある学生の研究活動を支援するため、独自の給付奨学金制度を設けています。推薦制と公募制があり、給付額はともに授業料半額相当です。詳しくは本学ホームページをご覧くださいか、**キャンパスライフサポート (TEL. 06-6723-8279)** までお問い合わせください。

15. 長期履修制度

長期履修制度は、仕事との両立など、個々の事情に合わせて学業にじっくりと取り組みたい方に配慮した制度です。

この制度を活用した場合、通常の年限（2年）の授業料で3年から4年にわたって大学院の授業を履修することができます。また、標準修業年限2年の場合に支払うべき授業料等総額を、在籍年数に合わせて分割納入することになりますので、年間の学費負担を軽減することができます。長期履修制度については出願時に申請していただきます。詳しくは、**入試広報課 (TEL. 06-6723-8274)** までお問い合わせください。別途、資料をお送りします。

16. 昼夜開講制度について

昼夜開講制度は、社会人が働きながら無理なく通学できることを最優先に考え、授業時間帯を平日の夕方以降や土曜日の昼間を中心に配置しています。一部の科目については土日や長期休暇期間などを利用した集中講義形式で授業を展開します。詳しくは、**入試広報課 (TEL. 06-6723-8274)** までお問い合わせください。

※本専攻では、6 講時：18：20～19：50、7 講時：20：00～21：30を中心に授業を開講します。土曜日は、集中講義期間など昼間開講となります。

17. インフォメーション

【入学許可の取り消しについて】

- ・ 所定の期日までに入学手続を完了しない場合は、入学を許可しません。
- ・ 出願書類および入学手続書類に虚偽の申請があると判明した場合は、入学の許可を取り消します。

【納付金返還制度（入学金を除く諸費の返還について）】

既納の納付金は理由の如何を問わず返還しません。ただし、入学手続完了後、何らかの理由で本学への入学を取りやめた者を対象に、入学金以外の納付金（一部諸費）を返還する『納付金（一部諸費）返還制度』を設けています。返還を希望する者は、2024年3月31日（金）[当日消印有効]までに「入学辞退届・入学手続時納付金返還願」（合格通知書に同封）を提出してください。

【個人情報の保護について】

大阪樟蔭女子大学大学院では「個人情報の保護に関する法律」に基づき、出願に際して志願者から提供された個人情報については、安全管理のために必要な措置を講じています。提供された個人情報は、入学選考の際の連絡や合格者・入学手続者への各種案内の発送に利用します。また、入試統計資料の作成のため、個人を特定しない形で利用することがあります。

入学後は、入学者データとして、氏名・住所・電話番号および保証人の氏名・住所・電話番号について、次の団体が本学と共同して利用させていただきます。この場合、会員への案内・機関紙発送等を目的とするもので、これらの関係団体も、個人情報の安全管理については大阪樟蔭女子大学大学院と同様の安全管理措置を講じています。

●大阪樟蔭女子大学大学院と合格者の個人情報を共同して利用する団体

同窓会	後援会	大学生協（任意）	樟蔭エンタープライズ
卒業生の親睦団体であり、卒業と同時に会員となっていただきます。	保護者・保証人で構成される後援組織であり、保護者・保証人の方々にご加入いただいております。	営利を目的とせず、組合員の大学での生活向上のため運営されており、入学者は組合員となっております。	学校法人樟蔭学園が100%出資して設立された会社です。学生総合保障制度等のご案内をさせていただきます。

【寄付金について】

本学では教育研究条件の設備充実のために、寄付金を募集しております。ただし、すべて任意で入学前には募集いたしておりません。詳細につきましては、入学後あらためてご案内申し上げます。

18. 研究指導教員の研究分野と研究指導について

※入学試験（一般入学試験）では、本専攻の研究教育分野に関する複数の課題のうちから1題を選択して解答します。参考として、18.【1】研究教育分野の内容、19.カリキュラム、20.授業科目とその講義等の概要を次に記載しておきます。他の入試区分での出願者も指導教員選定の際の参考にしてください。

【1】本専攻の各研究教育分野とその内容

分野名	研究教育分野の内容
ファッション学分野	この分野においては、衣服材料学、衣服管理学、衣服構成学、服飾美学の分野における基礎的知識および最新の成果について考究させることで、衣服生産において求められる工学的、技術的、デザイン的なスキルを学ばせる。また、衣服のリサイクルや環境汚染などの問題もここで学ばせる。
化粧品デザイン学分野	この分野においては、化粧品科学、化粧品開発、メイクアップ技術、皮膚科学などについて考究させることで、化粧品開発とその製品化、高度なメイクアップ技術、医療面でのトラブルの回避など、化粧品と化粧品、化粧品産業において必要とされるハード及びソフト面での高度な知識を学ばせる。
身体表象学分野	この分野では、身体の認知、化粧の心理学、美術解剖学などの理解を通して身体と心の関係を深く知るとともに、身体社会学の立場からアイデンティティ形成と欲望の問題、身体イメージと身体の客体化、媒介者の役割等の問題を考えさせ、加えて他者存在と身体接触のもたらす福祉的效果などについて考究させる。
ビジネス関連分野	ファッションおよびビューティ産業の分野での事業展開やマネジメントを学ばせるとともに、化粧品セラピーなどの効果が臨床的に明らかになりつつあることに鑑み、非営利の事業展開やボランティア活動を通して地域の活性化を実現するためのマネジメントを考究させる。

【2】専任教員の研究分野と内容（2023年4月現在）

化粧ファッション学の研究分野	
専任教員名	研究内容
小林 政司 教授	おもに衣服整理学あるいは隣接する研究諸領域に関心をもつ学生の論文指導を行う。衣の消費科学とも呼ばれるこれら分野においては、衣服素材とともにそれを着用する消費者の生理や心理の側面も重要なテーマとなる。
杉田 慶子 教授	おもに衣服構成学あるいは隣接する研究諸領域に関心をもつ学生の研究指導を行う。斬新な衣服の制作や歴史的な衣服の保存修復復元などを通じて構成学上の理論構築に資するよう指導する。
岩永 哲朗 教授	化粧品科学および化粧品製剤化技術に関心をもつ学生の研究指導を行う。特に、化粧品製剤化に不可欠な成分である界面活性剤を中心にその役割、特性研究から指導を行う。
高田 定樹 教授	化粧品科学および化粧品開発に関わる課題に関心をもつ学生の指導を行う。また、社会の動向や趣味の変容、さらには化粧のセラピー効果に至る幅広い問題関心の涵養も視野に入れた指導を行う。
松下 戦具 准教授	化粧の心理学あるいは身体の認知科学の方法論にもとづき、人がいかに顔や身体を認知するか、等について研究する。最近の化粧心理学においては生理学的実験や臨床場面でもエビデンスに基づく方法論の修得が必須になっており、その面での研究支援が可能である。
川野 佐江子 教授	ファッションや化粧などの“よそおい”行為に纏わる諸現象について身体とその表象の側面に注目して研究指導を行う。学生には、よそおい行為の背景にある歴史的・社会的状況が身体表象といかなる関係を持つのか等に留意させ指導する。
森 優子 教授	ファッションや化粧などのデザインや表象に関する諸領域に関心をもつ学生の研究指導を行う。特にビジュアルコミュニケーションの観点から、生活、産業、環境と芸術・デザインの関わりについて実践活動も取り入れた指導を行う。

【3】研究指導

科目区分	授業科目名	概要
研究指導	科目外 (単位にはなりません)	<p>1) 研究指導スケジュールに従って、修士論文作成に係わる研究指導を行いません。具体的には、(1)テーマの設定 (2)文献調査によるテーマ周辺の情報収集 (3)研究方法の決定 (4)研究の実施 (5)得られた結果の解析と考察 (6)修士論文作成 (7)修士論文発表、がその内容です。これらの手順に従って、化粧ファッション学の研究遂行能力を確実に修得してください。</p> <p>2) 研究指導は、研究指導教員が担当します。</p>

19. カリキュラム（2024年度予定）

【人間科学研究科化粧ファッション学専攻（修士課程）】

科目区分	開設予定科目	配当学年	必修・選択必修	授業方法	単位
共通科目	人間科学研究方法論	1	必修	A	2単位
基幹科目	化粧ファッション学 特殊研究1	1	必修	A	2単位
	化粧ファッション学 特殊研究2	1	必修	A	2単位
ファッション学 科目群	ファッションと科学演習1	1・2	選必	B	2単位
	ファッションと科学演習2	1・2	選必	B	2単位
	ファッションと技術演習	1・2	選必	B	2単位
	ファッションと美学演習	1・2	選必	B	2単位
化粧デザイン学 科目群	化粧デザインと科学演習1	1・2	選必	B	2単位
	化粧デザインと科学演習2	1・2	選必	B	2単位
	化粧デザインと技術演習	1・2	選必	B	2単位
	化粧デザインと美学演習	1・2	選必	B	2単位
	化粧デザインと医学演習	1・2	選必	B	2単位
身体表象学科目群	身体表象と心理演習	1・2	選必	B	2単位
	身体表象と解剖学演習	1・2	選必	B	2単位
	身体表象と社会演習	1・2	選必	B	2単位
	身体表象と福祉演習	1・2	選必	B	2単位
関係科目	ファッションビジネス論	1・2	選必	B	2単位
	ビューティビジネス論	1・2	選必	B	2単位
	非営利ビジネス論	1・2	選必	B	2単位
	ボランティア活動論	1・2	選必	B	2単位
特論科目	化粧セラピー特論	2	選必	A	2単位
	キュレーション特論	2	選必	A	2単位
	保存修復復元特論	2	選必	A	2単位
	メイクアップ特論	2	選必	A	2単位
	ヘアデザイン特論	2	選必	A	2単位
	ファッション特論	2	選必	A	2単位
	パフォーマンス特論	2	選必	A	2単位
	デジタルデザイン特論	2	選必	A	2単位

集中演習科目	ファッション学方法論 1	2	選必	B	2単位
	ファッション学方法論 2	2	選必	B	2単位
	ファッション学方法論 3	2	選必	B	2単位
	化粧品デザイン学方法論 1	2	選必	B	2単位
	化粧品デザイン学方法論 2	2	選必	B	2単位
	化粧品デザイン学方法論 3	2	選必	B	2単位
	身体表象学方法論 1	2	選必	B	2単位
	身体表象学方法論 2	2	選必	B	2単位
	ビジネス方法論	2	選必	B	2単位
			合 計	34単位	
研究指導および修士論文			単位になりません		
修 了 要 件			<p>①共通および基幹科目を3科目6単位必修、②演習科目を4科目群にわたり8科目16単位を選択必修、③特論科目8科目のうち2科目4単位選択必修、④集中演習科目を1科目2単位選択必修し、合わせて34単位以上を修得のうえ、修士論文または課題研究レポートを提出し、その審査に合格することを修了要件とする。</p>		

※各科目の開講時期（前期・後期）は未定。

※授業方法A：講義、B：演習、C：実験・実習

※年度によって不開講の科目もある。

20. 授業科目とその講義等の概要

(各教員の紹介は、専攻案内リーフレット参照)

共通科目		
授業科目名	担当者	講義等の概要
人間科学研究方法論	小林政司教授 川野佐江子教授 杉田慶子教授 高田定樹教授 松下戦具准教授 他	この科目においては、人間科学研究科の3つの専攻、すなわち、①現代社会における心の問題に関する教育研究を行う臨床心理学専攻、②現代社会における食の産業と健康に関する教育研究を行う人間栄養学専攻、および、③現代社会における身体と身体美、および身体によそおいに関する教育研究を行う化粧ファッション学専攻の教員が、各専攻に固有の学問的方法論とこれまでの成果、ならびに最新の知見を検証することによって、研究科共通の目的「生活の質の向上」に資する人材養成の機能を促進させる。
基幹科目		
授業科目名	担当者	講義等の概要
化粧ファッション学 特殊研究1	岩永哲朗教授 小林政司教授 川野佐江子教授 杉田慶子教授 高田定樹教授 福本哲也教授 森優子教授 高木大輔准教授 谷明日香准教授 松下戦具准教授 水野夏子准教授 小出治都子講師	この科目においては、「身体と身体美、および身体によそおい」についての総合的な学問である「化粧ファッション学」の意義、対象とする事象、地理的歴史的広がり、隣接する専門領域との関係、文化芸術活動や「美の産業」との関連など、本専攻がその研究教育の出発点において教員と学生との間で相互に確認しなければならない諸課題、諸テーマについて議論を積み重ね、「化粧ファッション学」の学問としての深化を図ることを目的とする。
化粧ファッション学 特殊研究2	岩永哲朗教授 小林政司教授 川野佐江子教授 杉田慶子教授 高田定樹教授 福本哲也教授 森優子教授 高木大輔准教授 谷明日香准教授 松下戦具准教授 水野夏子准教授 小出治都子講師	この科目においては、現代社会において「化粧ファッション学」がなぜ必要であるのか、また「化粧ファッション学」の名称のもとにいかなる研究が可能であるか等について、専攻を構成する3つの分野（ファッション学、化粧デザイン学、身体表象学）の間での方法論上の差異を安易に融解させることなく、相互批判、相互発展のための議論を組織する。授業の形式は、専攻の全教員、全学生が参加する合同授業の形態を採用する。
演習科目		
ファッション学科目群		
授業科目名	担当者	講義等の概要
ファッションと 科学演習1	谷明日香准教授	この科目においては、繊維や糸、布の構造や性質など、おもに衣服材料学などの分野における基本的な知識を共有させるとともに、伝統的な繊維獲得の方法、「新素材」の開発、特定分野の必要から要請される特殊素材探究の動向、環境負荷の軽減に貢献する技術の開発などについて研究させる。

ファッションと 科学演習 2	小林 政 司 教授	この科目においては、衣の消費科学とも呼べる衣服整理学の分野における基本的な知識を共有させるとともに、たとえば現在、世界的な規模で問題になりつつある洗浄排水を原因とする環境問題（富栄養化現象）、不断に供給され続ける衣料品の堆積とリサイクルの問題などについての最新の研究動向、研究成果について考究させる。
ファッションと 技術演習	杉 田 慶 子 教授	この科目においては、おもに衣服構成学の分野における基本的な知識を共有させるとともに、実際の作品を通して衣服のデザインから素材選定、パターン作成、縫製、仕上げ、着装までの諸工程について理解し、加えて、各自のデザイン力および衣服制作技術を伸長させることによって、新しい衣服制作の可能性を探究させる。
ファッションと 美学演習	水 野 夏 子 准教授	人間にとって衣服とは何か。世界各地の人々が育んできた衣服デザインについて服飾史や民俗学における基礎的知識を共有させるとともに、美術館収蔵品や現代作家の作品を素材に服飾史・服飾美学の視点から、人々がいつ、どのような衣服を、なぜ好んで着たのかを、素材、形態、色彩、トレンドなどの分析軸を通して具体的に理解させる。
化粧デザイン学科目群		
化粧デザインと 科学演習 1	岩 永 哲 朗 教授	この科目においては、薬学や化学、生理学などの知見をもとに快適であるばかりでなく安全で安心な化粧品制作のために必要な基礎知識を学ばせる。いかにいえば、化粧材料の研究、実験、分析、合成、処方化などについて考えさせるのがこの科目の目的である。加えて、一般消費者が化粧品を使用するにあたって必要な知識は何かを考える化粧品科学リテラシーについても研究させる。
化粧デザインと 科学演習 2	高 田 定 樹 教授	この科目においては、化粧品開発にあたって必要な色彩学、香料学、顔学、さらにはデザインや技術性、官能評価に関する知見等を修得させるとともに、じっさいに化粧品の開発企画書（考案、工夫、アイデア、パッケージデザインなどを含む）を制作させたうえで、試作品の制作を行い、化粧品開発の視点からの分析と評価を行わせる。
化粧デザインと 技術演習	高 木 大 輔 准教授	この科目においては、化粧の技術に関する基本的な知識について理論的に学ぶとともに、じっさいに肌の手入れ、メイクアップ、ヘアメイク、染毛などの実技を行いながら、その効果について研究させる。加えて、化粧技術の歴史的な変遷、評価の基準、今後の可能性などについても考究させる。
化粧デザインと 美学演習	小 出 治都子 講師	人間にとって化粧とは何か。ヒトが人間になって以来育んできた世界各地の化粧の紹介や考察を行うなど、顔と化粧の美学に関する基本的知識の確認を行うとともに、人はなぜ化粧を行うのか、という根本的な命題について考えさせる。具体的には、化粧の呪術的、演劇的、美的、社会的等の諸側面について具体的事例をもとに考究させる。
化粧デザインと 医学演習	折 田 久 美 講師	化粧の原点を説明するにあたっては、文明学的あるいは社会学的な問題関心からの説明も不可欠であるが、皮膚管理の観点からの説明も重要な役割をもつ。科学が発達した現在では、薬学、病理学、医学、生理学、なかでも皮膚生理学的な観点からの研究も必要である。本科目においては、化粧を主たる研究対象とする化粧医学あるいは皮膚管理学の知識を考究させる。

身体表象学科目群		
身体表象と心理演習	松下 戦 具 准教授	この科目では、人が身体や化粧ファッションをどのような知覚しているのかといった問題に加え、よそおいが心理に及ぼす影響、あるいは逆に心理が装いに及ぼす影響などを科学的観点から研究する。それにより、よそおい・身体・心理の三者の関係や、自己と他者との関係を考究するための基礎の一端を構築することを目的とする。
身体表象と解剖学演習	堀 井 謹 子 講師	身体表象行為に関わる諸問題、諸課題を研究対象とするにあたっては、顔と身体に関わる解剖学的な知見の共有は不可欠である。この科目においては、人体各部の器官や組織の名称を知り、位置関係や構造を理解させるとともに、19世紀後半に精神医学と芸術活動の重なり合いの中で急速に発展をとげた美術解剖学の成果を学習し、身体内部を可視化するための諸方法について学ばせる。
身体表象と社会演習	川 野 佐江子 教授	この科目においては、かつては共同体の規範のもとにあった化粧や服装などの身体表象行為が、近代の消費社会形成のプロセスの中で、いかに個人の自己イメージ（アイデンティティ）形成の欲望を生み出し同時に関連する多様な産業の発展を生み出していったかについて研究させる。方法論としては、現象学的身体論あるいは歴史社会学的な分析枠組みを用いる。
身体表象と福祉演習	(2023年度不開講)	衣服や化粧などによる「よそおい経験」は、主体の側から見れば美の経験として実感され、人々の生活の質の向上と生きる喜びへとつながっていく。このことの好例が、最近注目されているおしゃれや化粧のセラピー効果である。この科目においては、いまだ発展途上にある美容福祉について学ばせるとともに、具体的な福祉現場での経験を通してセラピーの方法論について考究させる。
関係科目群		
ファッションビジネス論	福 本 哲 也 教授	ファッション産業には、先端的な科学技術と伝統的な職人的技巧、そして洗練された美的感覚が求められる。情報化社会では記号的価値を形成するに、個人の心理的内面また準拠集団での共通イメージ双方への働きかけは事業化において不可欠となる。この科目においてはファッションビジネスを中心に、商品開発から製造、販売に至る事業展開について情報面から考究させる。
ビューティビジネス論	福 本 哲 也 教授	身体に直接的に介入する割合の大きい化粧・ファッション商品は親密商品とも呼ばれる。これらの商品の開発、製造、販売に関わるファッション・ビューティ産業には、先端的な工業技術と伝統的な職人的技能、そして洗練された美的感覚が求められる。この科目においてはビューティ（化粧と美容）ビジネスを中心に商品開発から製造、販売、および店舗展開に至るまでのビジネスプロセスについて学ばせる。
非営利ビジネス論	福 本 哲 也 教授	昨今、社会の公正性が求められ非営利組織が活躍を期待される場面が増大している。ただ一般にその組織課題として、効率性、継続性について、さらに議論されるところも多い。この科目では組織理念から、組織活性化、外部協力者との関係構築・維持など非営利組織と営利組織とのマネジメントの相違について考究していく。
ボランティア活動論	(2023年度不開講)	東日本大震災の後に化粧セラピーや美容福祉への関心が高まり、この分野でのボランティア活動への期待も高い。しかし、施術的側面の人材養成とともに、ボランティア活動において不可欠とされる基本的知識や経験をもつ実践家が払底している。この科目においては、ボランティア活動の実践的知識を学ばせるとともに、ボランティア論と化粧・ファッション学をつなぐことをめざす。

特論科目群		
化粧セラピー特論	松 下 戦 具 准教授	化粧によって心身の問題（抑うつ症状など）を軽減する手法は「化粧セラピー」として福祉の現場などで近年注目されている。しかしながら化粧セラピーはまだ必ずしも確立された技術ではなく、科学的エビデンスを蓄積している途上の段階にある。この科目においては、化粧のセラピー効果についての知見を共有するとともに、化粧セラピーにおける心理指標の測定の実践・分析・検証の積み重ねによって研究の深化に寄与する。
キュレーション特論	小 出 治都子 講師 中 村 圭 美 講師	1970年代以降、日本出身デザイナーが世界的に注目され、多くの作品が創作され蓄積されてきたが、それらを知的財産として管理し将来の人材育成に役立てるための努力が希薄であった。この科目においては、ファッションや化粧デザインの分野でのアーカイブ活動ならびキュレーション活動の意義と実際について学ばせることを通して、この分野での人材育成を行う。
保存修復復元特論	浜 田 久仁雄 講師 中 村 圭 美 講師	化粧ファッション分野での保存修復復元の作業を統率・実践できる高度な能力・技術を備えた人材が払底している。この科目においては、すでに平成16年以来、本学学芸学部化粧ファッション学科（ファッション学専攻と化粧学専攻）が神戸ファッション美術館との間で進めてきた「学館協働事業」をさらに深化させ、種々の企画展示、催事、および収蔵品の一部の復元作業を通して、化粧ファッションの分野での保存修復復元作業を担える人材を養成する。
メイクアップ特論	江 川 悦 子 客員教授	この科目においてはメイクアップの基本的な技術を学ばせるとともに、舞台メイク、歌舞伎メイク、ファッションショーメイク、あるいは映画やテレビなどで必要とされる特殊メイクなどさまざまな分野のメイクアップ技術を詳細に検討のうえ、それらの再現や新しい技術の開発などについて実践的に研究させる。
ヘアデザイン特論	(2023年度不開講)	この科目においてはヘアメイクの基本的な技術を学ばせるとともに、さまざまな分野におけるヘアメイク技術の変遷、それらの再現、新しい技術やシルエットの開発などについて研究させる。実際の日常生活において必要とされる技術だけでなく、ファッションショーや美術館展示におけるヘアメイクの技法についても学ばせる。
ファッション特論	杉 田 慶 子 教授	なぜ衣服を着るかという基本的な問いから始め、20世紀の代表的クリエイターの足跡をデザインやシルエットなど諸側面からたどることで、社会のなかでいかにしてファッション現象が発生し、現代ファッションがいかなる問題軸を中心に展開されてきたか、今後のファッションの方向性は何かについて考究させる。
パフォーマンス特論	(2023年度不開講)	現代社会における「よそおい行為」は、行為者である人間が、自らの身体と衣服ファッション、化粧デザイン、ヘアデザインなどを、動的な空間の中で十全に駆使し統合することによって実現される。この科目においては、人間の欲望が、身体と身体装飾を寄り代にしていかに美を実現するものかをパフォーマンスの実践を通して検証させる。
デジタルデザイン特論	森 優 子 教授	デザイン活動は、調和のある生活環境を意識的に構築することによって人間としての物質的、精神的な諸要求の充足を目指す創造的活動である。本科目においては、デジタルとアナログの2つの観点から、美やデザインに関する知識と技術を修得し、いかに生活、産業、環境に働きかけるかを考え、生活の質を高めるための実践的想像力を養う。

集中演習科目群		
ファッション学 方法論 1	(2023年度不開講)	集中演習科目群の目的は、本専攻の他の科目群で修得した知識、感性、技術などを実践的なレベルで定着させることによって、自律した研究者、専門職業人となるための方法論を修得させることにある。社会人学生にとっては、これまで蓄積してきた経験知を学問知に転換させるための方法論科目でもある。本科目の受講者は、衣服材料学がその研究対象とする諸領域から自ら主題を発見・選択・設定し、担当の教員の指導のもとに、学内外のリソースを活用し、また実験などによる検証を通して主題別の個人研究を行い、その成果を報告書の形式にまとめて提出する。
ファッション学 方法論 2	小林 政 司 教授	前記、集中演習科目群の目的にそって、本科目の受講者は、衣服整理学がその研究対象とする諸領域から自ら主題を発見・選択・設定し、担当の教員の指導のもとに、学内外のリソースを活用し、また実験などによる検証を通して主題別の個人研究を行い、その成果を報告書の形式にまとめて提出する。
ファッション学 方法論 3	杉 田 慶 子 教授	前記、集中演習科目群の目的にそって、本科目の受講者は、衣服構成学がその研究対象とする諸領域から自ら主題を発見・選択・設定し、担当の教員の指導のもとに、学内外のリソースを活用し、また実作実践などによる検証を通して主題別の個人研究を行い、その成果を報告書、または成果物に報告書を添えて提出する。
化粧品デザイン学 方法論 1	岩 永 哲 朗 教授 高 田 定 樹 教授	前記、集中演習科目群の目的にそって、本科目の受講者は、化粧品の科学がその研究対象とする諸領域から自ら主題を発見・選択・設定し、担当の教員の指導のもとに、学内外のリソースを活用して実験や試作品開発等を行い、科学的に得られたその成果を主題別の個人研究としてまとめ報告書を提出する。
化粧品デザイン学 方法論 2	(2023年度不開講)	前記、集中演習科目群の目的にそって、本科目の受講者は、化粧の医学あるいは皮膚管理学がその研究対象とする諸領域から自ら主題を発見・選択・設定し、担当の教員の指導のもとに、学内外のリソースを活用して実験や臨床経験を積み重ねつつ課題の検証を行い、その成果を主題別の個人研究としてまとめ報告書を提出する。
化粧品デザイン学 方法論 3	松 下 戦 具 准教授	前記、集中演習科目群の目的にそって、本科目の受講者は、化粧の心理学あるいは身体の認知科学がその研究対象とする諸領域から自ら主題を発見・選択・設定し、担当の教員の指導のもとに、学内外のリソースを活用して実験や臨床経験を積み重ねつつ課題の検証を行い、その成果を主題別の個人研究としてまとめ報告書を提出する。
身体表象学 方法論 1	森 優 子 教授	前記、集中演習科目群の目的にそって、本科目の受講者は、身体表象行為に参与するファッションや化粧品などのモノを研究対象とする諸領域から自ら主題を発見・選択・設定し、担当の教員の指導のもとに、学内外のリソースを活用し、化粧ファッション商品と身体表象との関わりについて具体的に検証し、得られた成果を主題別の個人研究としてまとめ報告書を提出する。
身体表象学 方法論 2	川 野 佐江子 教授	前記、集中演習科目群の目的にそって、本科目の受講者は、身体社会学や文化経済学がその研究対象とする諸領域から自ら主題を発見・選択・設定し、担当の教員の指導のもとに、学内外のリソースを活用して、消費社会における身体表象行為や文化装置が含みもつ諸課題の検証を行い、得られた成果を主題別の個人研究としてまとめ報告書を提出する。

<p>ビジネス方法論</p>	<p>(2023年度不開講)</p>	<p>前記、集中演習科目群の目的にそって、本科目の受講者は、本専攻の他の分野で学んだ知見を、ファッションおよびビューティビジネスの分野でいかに活用するか、活用にあたってはいかなる課題があるか等について、担当の教員の指導のもとに個別の主題を発見・選択・設定し、学内外のリソースを活用し研究した成果を報告書にまとめ提出する。</p>
----------------	--------------------	--

※上記教員配置は2023年4月現在のものです。